

2022年5月30日

報道機関 各位

江戸時代に長崎から世界中へ旅立った 肥前陶磁器“IMARI”の歴史を学ぶ動画を公開 ～長崎の海岸に転がる陶磁器の欠片からひも解く世界とのつながり～



陶磁器の欠片から制作された時代を推測する動画のシーン

長崎大学多文化社会学部では、海外協定校の学生に向け、日本・長崎の文化を体験できる短期留学プログラムを実施していましたが、新型コロナウイルスの影響により、2020年度から実施を見送ってきました。しかし、同プログラムに関心を寄せるアジア・欧米の学生からの問い合わせが非常に多いことから、日本や長崎の文化を紹介、解説した短編動画を昨年から制作し、webで公開しています。少しでも日本や長崎の文化に触れる機会を提供、長崎大学への留学意欲をより一層高めてもらうことを狙いとしています。このたび、その2作目となる短編動画を制作し、多文化社会学部 YouTube チャンネルで配信を開始しました。

今回は、『“セラミックロード”世界に広がる肥前陶磁器の世界』と題して、長崎の海岸に転がる陶磁器の欠片を皮切りに、鎖国時代、世界中に広まった肥前陶磁器の歴史を学ぶ動画となっております。

ぜひ、本動画をご覧ください、当研究テーマにまつわる取材や動画紹介をしていただけますと幸いです。

| | |
|--------|--|
| 動画タイトル | 【Archeology】Ceramic Road - Hizen Imari Ceramics World Wide - (邦題：【考古学】セラミックロード：世界を巡った肥前陶磁器) |
| 動画 URL | https://youtu.be/paJ3ykiZl8U |

【本リリースに関するお問い合わせ先】

長崎大学多文化社会学部（総務）

Tel: 095-819-2934 E-mail: hss_ryugaku@ml.nagasaki-u.ac.jp

《動画について》

- 動画内でナビゲーター役を務める学生は、多文化社会学研究科（大学院）で考古学を専攻している中国からの留学生です。同じく動画内で解説をしている野上建紀教授の研究室で学んでいます。
- 想定される視聴者が海外の学生であるため、動画の主言語は英語としております。動画の途中、英語のナレーションになる箇所では、YouTube の字幕機能を ON にすることで、日本語の字幕が表示されます。
- この動画は、英語の学習教材としても使用することができます。
- 動画の内容
 - 長崎の海岸に転がる古い陶磁器の欠片
 - 長崎大学について
 - 陶磁器の欠片は肥前で焼かれたもの！？
 - 肥前の歴史と「IMARI」
 - 様々な場所で発掘される陶磁器（サント・ドミンゴ教会跡資料館・出島）
 - 隣り合った長崎県の波佐見と佐賀県の有田
 - 登り窯の歴史
 - 陶磁器の二つのタイプ「陶器」と「磁器」
 - 陶磁器に関するミュージアム
 - 鎖国時でも世界市場のニーズを理解していた陶工たち
 - 長崎・出島から海の道を通じて世界に広がる肥前の陶磁器 - セラミックロード -
 - 現在の肥前陶磁器
- 昨年 2021 年に制作した 1 作目の動画はコチラです。

| | |
|--------|--|
| 動画タイトル | 【Cultural Anthropology】Nagasaki Chinese - Check it out! Localization and Recreation - (邦題:【長崎における文化人類学】ナガサキ・チャイニーズ — 再発見!文化の地域化と融合) |
| 動画 URL | https://youtu.be/z0r3iAJquqM |